
SA協議会

2015年度 名古屋スキルアップミーティング

(2015年10月19日開催)

報告

SA協議会

2015-11-x0

WG; 青山、西山、中山、外山

スキルアップミーティング(以後,SUM)報告項目

1. 概略計画(WGメンバーにて計画運営を実施)

名古屋会場

2. SUM参加者

3. 当日の内容報告

名古屋会場

4. 参加者アンケート結果

5. その他(懇親会)

* 講演資料は別PDFファイルを参照

(ファイルは、会員専用ページ「スキルアップミーティング」を参照)

1. SUM概略計画(名古屋会場)

開催概要【名古屋会場】

- 開催日時：平成27年10月19日(月) 12時30分～17時00分
- 開催内容：講演とグループディスカッション
- 開催場所：三菱電機株式会社 名古屋製作所FCC(FAコミュニケーションセンタ)
- 定員：30名様
- 参加費：無料
- 懇親会費：3,500円(予定) ※懇親会へのご参加は任意です。
- 申込締切日：平成27年9月30日(水)着

【プログラム】

受付:12:00 開始

開会:12:45

終了:17:00

懇親会:17:45～19:30

【開催内容】

- ・会長の基調講演(ビデオ講演)
「労働安全マネジメントシステムの動向」ISO45001 規格動向
向殿 政男 明治大学名誉教授
- ・講演
「技術者倫理の必要性と労働安全衛生マネジメントシステムの現状」
講師;三菱電機(株) 青山直樹氏、 本田技研工業(株) 西山政則氏
- ・グループディスカッション
テーマ「事故から考えるセーフティアセッサの役割」
- ・情報提供 JCより

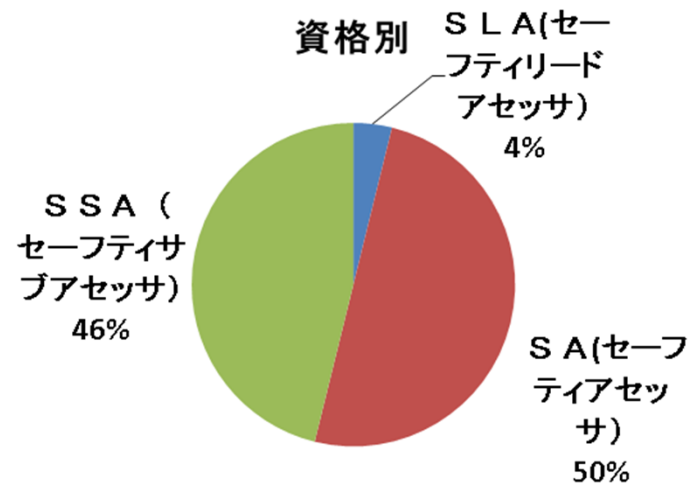
2. 参加者結果

参加希望者

名古屋 34名 (WG除く)

当日参加者

名古屋 26名 + WG 4名
(懇親会参加者 12名)



参加者のSA資格別内訳別



参加者

3. 内容報告

名古屋会場

【プログラム】 12:45～17:00 司会;中山氏

●12:45 会長の基調講演(ビデオ講演)

「労働安全マネジメントシステムの動向」ISO45001 規格動向
向殿 政男 明治大学名誉教授

●13:20 講演

「技術者倫理の必要性和労働安全衛生マネジメントシステムの現状」
講師;三菱電機(株) 青山直樹氏、 本田技研工業(株) 西山政則氏

●14:50 グループディスカッション、発表、講評

テーマ「事故から考えるセーフティアセッサの役割」
進行役;青山氏

● 16:50 情報提供 日本認証から

・SAの海外展開(タイ) ・能力基準の国際標準化 ・SA協議会HP

● 17:00 閉会、終了

【懇親会】

場所;「焼鳥居酒屋しんちゃん」名古屋太閤店 時間;17:45～20:00

3. 内容報告

(1) 基調講演 SA 協議会会長 明治大学名誉教授 向殿 政男先生

●ご講演「労働安全マネジメントシステムの動向－ISO45001 規格動向」の講演で以下のポイントのビデオによるプレゼンがあった。

- ・労働安全衛生マネジメントシステムについて
- ・これまでの労働安全衛生マネジメントシステム規格・指針の動向
- ・OSHMAとISO45001 ・ISO/ PC283の動向
- ・審議中の課題と論争点 ・わが国の今後の目指すべき方向

(講演資料は、SA協議会会員ページに掲示予定)



3. 内容報告

(2) 講演 「技術者倫理の必要性と労働安全衛生マネジメントシステムの現状」

講師;三菱電機(株) 青山直樹氏、 本田技研工業(株) 西山政則 氏

●「国内法令変更や社会背景における技術者倫理の必要性と労働安全衛生マネジメントシステムの現状」と題して以下の内容の講演があった。

・第12次労働災害防止計画 ・機械安全関連法令 ・労働安全衛生マネジメントシステム

●向殿 政男先生の講演資料から抜粋—リスクアセスメントを中心とした技術面の弱さについて
現状認識と今後の課題について報告。

・使用者と製造者のリスクアセスメント実態 ・機械安全技術者のレベルとJIS規格の活用拡大

(講演資料は、SA協議会会員ページに掲示予定)



3. 内容報告

(3) グループディスカッション(GD)

テーマ「事故から考えるセーフティアセッサの役割」とし、ディスカッションを実施した。

冒頭、青山氏より「事故の概要」とディスカッションの説明及びGDの進め方を説明した。

各グループを3名～4名の少人数構成で実施した。

◆ 討議事項

事故事例;機械式立体駐車場(二段・多段方式)で発生した事故

- ① 事故の原因、問題点、再発防止/未然防止策
- ② セーフティアセッサの役割、倫理



① 事故原因分析と対応策シート

| 事故原因 | 対応策 (リスク低減策) |
|------|--------------|
| | |

② セーフティアセッサの役割、倫理シート

| セーフティアセッサの役割 |
|--------------------|
| |
| 技術者として求められる重要な倫理は? |
| |

3. 内容報告

(3) グループディスカッション中



真剣にグループ討議が展開された。
グループは、3人～4人で7グループ構成。

3. 内容報告

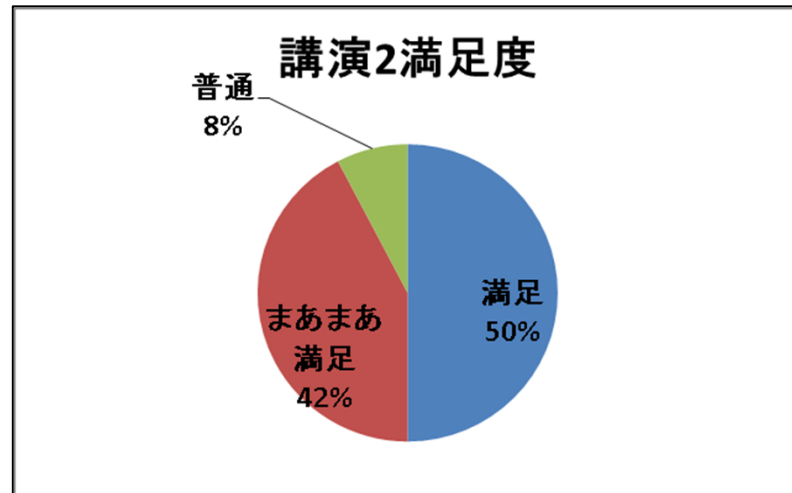
(3) 結果発表(各グループ 代表グループ)



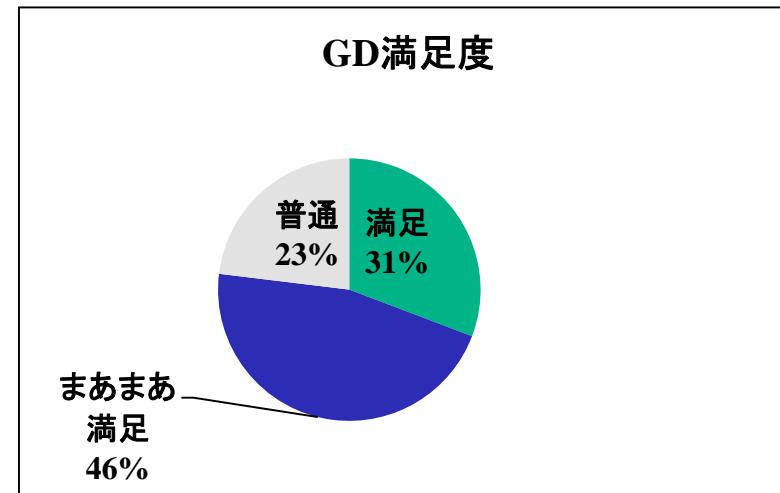
事件事例;機械式立体駐車場(二段・多段方式)で発生した事故に対してグループディスカッションした内容を代表して4グループが発表した。また、発表した内容について他グループから質疑もあった。

4. アンケート結果(26名から回収)

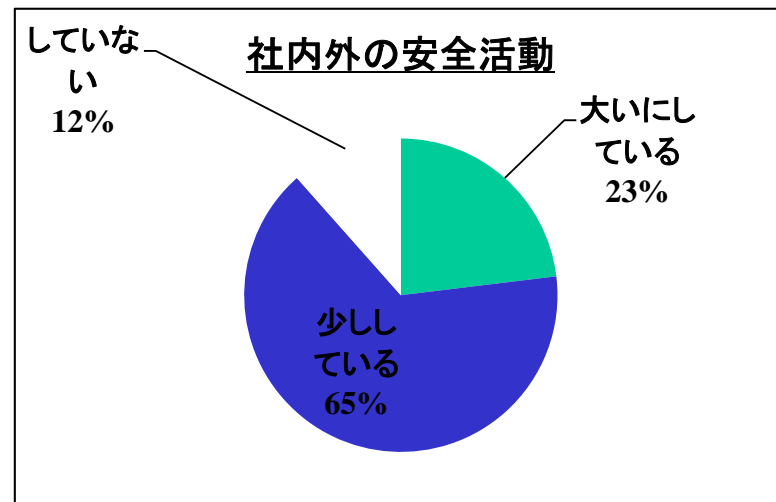
① 本日の講演についての感想は



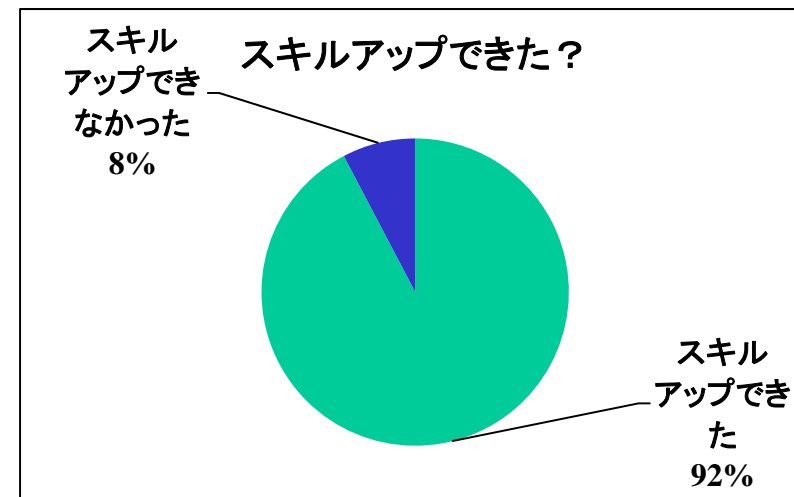
② 本日のグループ/討議についての感想は



③ 社内外での安全活動



④ 参加してスキルアップできましたか?



5. まとめ

中部地区として第3回目も大変に有意義なミーティングが開催された。

- ① 基調講演(ビデオ)では
 - ISO45001の動向について、ビデオ講演にもかかわらず向殿先生のわかりやすい解説で、概要をよく理解することができた。
 - 今後も引き続きこの国際規格の動向について注視するとともに、マネジメントシステムを有効活用して重篤な労働災害の防止に努めなければならないことが再認識させられた。
- ② 第2部講演では
 - 今回のテーマは幅が広く、機械安全分野ではあまり議論されてこなかった部分もあり、内容的が絞りにくい一面もあったが、ビデオ講演に合わせて現状の機械安全(技術者)の課題が共有化できた。
 - 特に、講演での現場の実例が報告されたことに対する反応は大きく、アンケートにも大変に参考になったとの意見が多かった。
- ③ グループ討議では
 - 誰でも知っている立体駐車場の事故事例をテーマに選んだ事で、各グループ活発な討議ができた。
 - 討議結果報告が時間の関係から全グループ出来なかったので、時間配分を含め今回のアンケート結果などを反映して満足度100%を目指し次回ミーティングにつなげていきたい。
- ④ 親睦会では
 - 親睦会での人のつながりは、ミーティングとはまた違う側面をもっていて、初対面の人でもフランクに意見交換ができる事もあり、来年も多くの参加者とのネットワークが広がっていく事を期待したい。

6. その他

活発な論議した交流会

最後に、楽しい懇親会を実施しました。参加者12名。

他社の方と安全の土俵で交流することにより、種々の安全に対する考え方、見方をリフレッシュすることができた、次回もぜひ参加したいとの多くの感想が寄せられた。

